

政治資金残りあと

17,759円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

前回までの残高	25,595円
印刷代（ビラ印刷代）	21,262円
交通費（駐車場、燃料代）	12,242円
会場費差額	1,600円
通信費（携帯電話）	13,394円
収入	
自己資金	20,000円
寄付 シミズ様、イシイ様	13,000円
合計 02/10/1～02/11/2	-7,836円

市政を考える

月刊武松

発行日

02/11/5

第38号

たけまつ

ただし

頒布責任者：武松 忠

武松政策研究会

減税が借金に！？

市民税減税は92.4億円の借金に！

■減る市税収入

市の収入の約半分を占めるのが*市税です。

*市税：市民税（個人・法人）、固定資産税、都市計画税、市たばこ税、軽自動車税等

図1に市税収入額の推移を示します。

市民税は、'92をピークに減少傾向にあります。その第1の要因は市民の収入減です。

固定資産税は、'99をピークに減少しています。

■下がる徴収率

市税収入が下がるもう一つの要因は、徴収率が下がっている事です。図2に示すように'95以降の下落が大きくなっています。また、市民税の下落幅が'00から持ち直しているのは、市税滞納に対する特別措置に関する条例（悪質滞納者の指名公開等）制定の効果と推測できます。

■減税が借金に（7年間で92.4億円の借金）

表1 減税補填債(借金)と地方特例交付金(収入)

	'94	'95	'96	'97	'98	'99	'00	計
減税補填債	23.7	21.6	25.9		13.2	3.7	4.3	92.4
地方特例交付金						8.8	11.6	

表1に示すとおり、市民税は'94から減税が始まりました。そのため減少した収入を補うために、借金（減税補填債）が必要になりました。'00までの累計で92.4億円にもなっています。'99からは、減税補填をこれ以上借金に負えないため、国から地方特例交付金が交付されるようになりました。

市民税減税が、市民1人当たり約5万円の借金になっている事になります。

図1 小田原市の市税収入額の推移

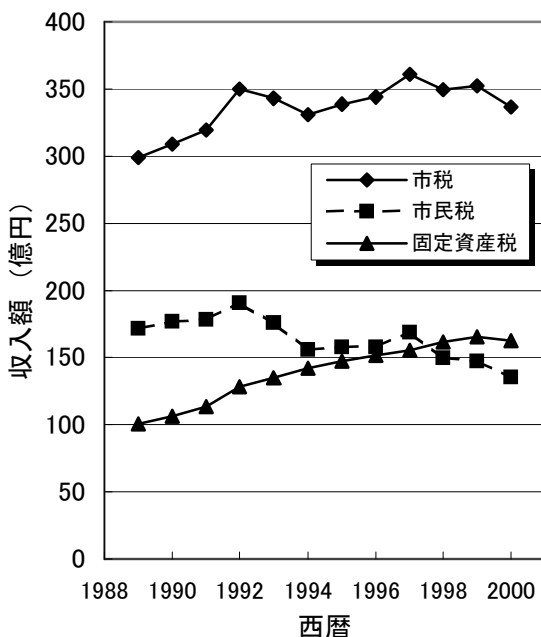
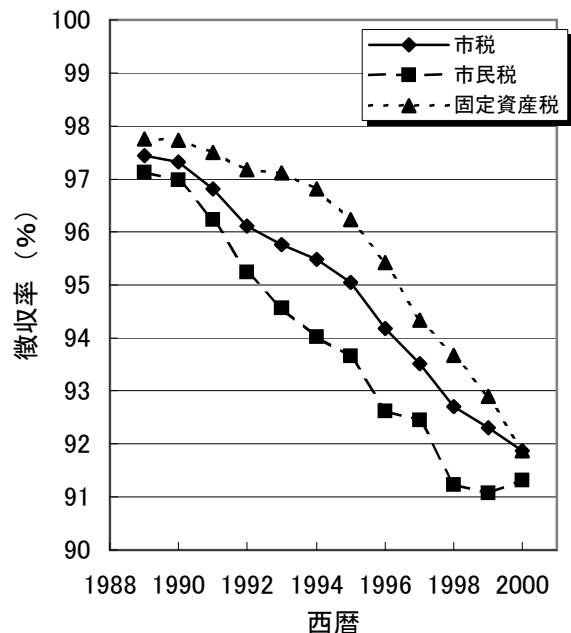


図2 小田原市の市税徴収率



退職金いくら？

■退職金いくら？

先月の私の月々の手取り（28.9万円）の話をきっかけに、議員の退職金や、ボーナスの額について皆さんから質問を受けました。小田原市議会議員の場合、共済掛け金として毎月5.28万円が天引きされています。（報酬月額47万8千円）

3期連続当選しなかった場合は、退職一時金として、1期4年で177.5万円（253.4万円の共済掛け金）、2期8年で405.5万円（506.8万円の共済掛け金）が支給されます。（年金を貰う事は出来ません。）

3期12年を全うした時点で、退職一時金は無く

なり、議員年金を貰える権限が発生します。

公務員の定年退職金は、小田原市が約2500万円、県職員で約3000万円になりますが、議員の場合は40年勤めて（2500万円以上の共済掛け金）も退職金はありません。

■ボーナスの計算方法は？

「ボーナスの金額から月々60万円以上もらっているものと思っていた。」とも言われましたが、計算方法は、以下のとおりです。

ボーナス額＝報酬月額×0.0ヶ月×1.45

1.5ヶ月とすると 47.8万円×1.5×1.45で、約104万円になります。支給月数に1.45という係数をかけています。言える事は、

選挙資金は、前回より少ない！！

The Voice 今までに頂いたご意見から

議会活動を客観的に知る手段はないのだろうか！ 市内在住 60代 男性

議員の議会活動や、どんな仕事をしているかが市民に見えてこない。後援会にでも入っていれば多少違うのかも知れないが、議員が訪問してくると「そろそろ選挙か？」「もう4年経ったのか？」と思う程度だ。議会だよりは文字が多すぎてあまり読む気がしないし専門用語も多すぎる。

そうなると結局、選挙のときは地元の議員か、若い人に投票するだけになってしまうし、これでは投票率も上がらない。議会活動を客観的に知る手段はないのだろうか？

今期の議員の議会活動を、私のホームページで実名公開していますが、ホームページを見ることができの方は限られていますので、前回の市議会議員選挙の特徴と今期の本会議での質問状況を箇条書きに示します。なおこのデータは、どの時期にどの様に出したら効果的か判断し公表する予定です。

■前回市議会議員選挙の結果から

- ・得票数と年齢は特に関係ない。
- 若いからといって投票数が多いわけではない。
- ・得票数の多い議員は、選挙支出も高い。
- ・得票数と当選回数は一切関係ない。
- ・当選回数と選挙支出に関係はない。

■今期の本会議での質問状況

- ・当選回数が多くなると、質問が少なくなる。
- 明確な差がありました。
- ・得票数の多い人は、質問が少ない傾向にある。
- ・年齢が高いほど、質問回数が少ない傾向にある。

■質問は回数でなく内容か？

量より質と言われても仕方ありませんが、現在までの本会議場での質問回数は、1回から12回までと差は明らかです。正副議長や監査は質問できませんが、誰が議会活動をさぼっているか明らかです。

武松政策研究会 月例勉強会のお知らせ

日 時：11/16（土）18時～20時

場 所：市民会館6階 第1多目的室

テーマ：「下水道事業の現状と課題」

市の借金総額で一番多い下水道事業についてディスカッションします。
どなたでも自由に参加できます。 参加費100円



URL <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/>

I-mode <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/i.ht>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ

さがみ信用金庫 大井町支店出張所 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

月刊武松は本人が配布しているため、行き届かないところがありますが、読み終わりましたら知合いの方にお渡しいただくと幸いです。また、eメールでも送付していますので連絡下さい。